

公安委員会 説明資料 No. 1	警察職員等の特別派遣について	令和5年10月12日 警備部
---------------------	----------------	-------------------

議題事項

徳島県公安委員会及び愛媛県公安委員会から援助の要求があったので、これを受理して警察職員等を特別派遣する。

1 徳島県公安委員会

(1) 派遣目的

内閣総理大臣警護のため

(2) 派遣概要

ア 派遣員

警察職員等

イ 派遣期間

令和5年10月14日（土）

(3) 援助要求

警察法第60条第1項の規定により、徳島県公安委員会から援助の要求があったもの

2 愛媛県公安委員会

(1) 派遣目的

新居浜地方祭典に伴う警備のため。

(2) 派遣概要

ア 派遣員

警察職員等

イ 派遣期間

令和5年10月17日（火）から10月18日（水）までの間

(3) 援助要求

警察法第60条第1項の規定により、愛媛県公安委員会から援助の要求があったもの

公安委員会 説明資料No. 2	県政モニターアンケート「治安に対する意識調査」の実施結果について	令和5年10月12日 警 務 部
--------------------	----------------------------------	---------------------

報告事項

令和5年7月に実施した県政モニターアンケート「治安に対する意識調査」の結果について報告する。

- 1 目的**
 県民の体感治安の意識を継続して調査・把握することにより、今後の県警察における各種施策を効果的に推進するため
- 2 実施時期**
 令和5年7月5日～同月18日
- 3 対象者**
 令和5年度県政モニター338人
 （うち、回答者294人）
- 4 質問項目**
 - (1) 基本項目（16項目）
 県民の体感治安の変化や要望等を経年的に把握するため、内容に大きな変化を加えず、毎年継続して質問する項目
 - (2) 随時項目（7項目）
 その年のタイムリーな事項について質問する項目
 ア サイバー犯罪について（3項目）
 イ 移動交番について（4項目）
- 5 集計結果（各項目から抜粋）**
 - (1) この1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが多くなりましたか、それとも少なくなりましたか。
 「どちらかといえば多くなった」（44.2%）が最も多く選ばれた。
 - (2) 警察の業務の中で、現状ではもの足りない、今後特に力を入れてほしいと思う活動は何ですか。
 「闇バイト（高額な報酬と引き換えに犯罪行為を行うこと。）への対応」（38.4%）が最も多く、次いで「犯罪の検挙（犯人の逮捕など）」（34.7%）、「パトカーや制服警察官によるパトロール」（31.3%）が選ばれた。
 - (3) 日頃、サイバー犯罪（インターネットを利用した犯罪など）の被害やインターネット上のトラブルに遭いそうで不安に感じることは何ですか。
 「ID・パスワード盗用の不正アクセス被害」（82.3%）が最も多く、次いで「個人情報の流出」（67.7%）、「コンピューターウイルスの感染被害」（65.6%）が選ばれた。
 - (4) 移動交番は、どのような場所で開設したらいいと思いますか。
 「大型商業施設」（59.2%）が最も多く、次いで「中山間地域の警察署や交番などから離れた場所」（49.3%）が選ばれた。

報告事項

11月2日（木）、香川県庁ホールにおいて警察協会及び消防協会の共催による令和5年度警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭を開催する。

1 開催日時

令和5年11月2日（木） 午前10時30分から ※ おおむね1時間

2 開催場所

香川県庁ホール

3 主催

（一財）香川県警察協会・（公財）香川県消防協会

4 奉祀者

- (1) 殉職者
警察殉職者 30 柱、消防殉職者 35 柱
- (2) 殉難者
警察協力殉難者 2 柱

5 式次第

- (1) 開式のことば
- (2) 奉祀者名簿奉納 儀仗隊
- (3) 黙とう
- (4) 式辞
香川県警察協会会長（警察本部長）
香川県消防協会会長（高松市消防団長）
- (5) 追悼のことば 知事、県議会議長、公安委員会委員長
- (6) 献花 主催者、遺族、来賓、警察・消防関係者
- (7) 遺族代表謝辞 警察殉職者遺族
- (8) 閉式のことば

6 参列予定者（約 145 人）

- (1) 遺族（約 15 人）
警察殉職者遺族、消防殉職者遺族
- (2) 来賓（約 10 人）
知事、県議会議長、公安委員会委員長 等
- (3) 警察関係者（約 95 人）
警察協会会長、部長等、学校長、参事官等、警察本部の課長等、県下警察署長、初任科生、各地区警友会会長 等
- (4) 消防関係者（約 25 人）
消防協会会長、消防長会代表、市町消防団長代表、消防学校長 等

7 平成元年以降の殉職者・殉難者

発生年月日	概 要
平成 6. 4. 19	火災出動中の交通事故による殉職（消防）
平成 8. 1. 31	精勤過労による殉職（警察）
平成 10. 11. 9	精勤過労による殉職（警察）
平成 11. 2. 25	交通事故被害者を救助中殉難（警察）

8 その他

- (1) 各所属への映像配信を予定
- (2) 座席間隔の確保、受付への手指消毒液の設置等感染症対策を実施

報告事項

香川県職員倫理条例に基づく令和5年第3四半期(7～9月)の贈与等報告書の提出があったので報告する。

1 報告の対象となる期間

令和5年7月1日から9月30日までの間

2 報告の対象となる職員

管理職員（給料の特別調整額の支給を受ける職員）

3 報告件数等

5件

- 警察活動に対する慰労として商品券（1万円分）と栄養ドリンクを受領（さぬき警察署）
- 警察活動に対する慰労として現金2万円を受領（高松東警察署）
- 警察活動に対する慰労として現金2万円を受領（丸亀警察署）
- 警察活動に対する慰労として栄養ドリンクを受領（琴平警察署）
- 警察活動に対する慰労として現金2万円を受領（高松南警察署）

4 参考（贈与報告書の閲覧）

香川県職員倫理条例第6条第2項の規定による閲覧の対象（1件につき2万円を超える場合）はなし。

公安委員会 説明資料 No. 5	県政モニターアンケート「特殊詐欺について」 の実施結果について	令和5年10月12日 生活安全部
---------------------	------------------------------------	---------------------

報告事項

令和5年9月に実施した県政モニターアンケート「特殊詐欺について」の結果について報告する。

1 目的

全国的に特殊詐欺の被害が依然として高水準で発生していることから、今後の特殊詐欺における被害防止対策の参考とするもの

2 実施時期

令和5年9月6日から同月19日までの間

3 対象者

令和5年度県政モニター338人
(うち、回答者 292人 回答率86.4%)

4 質問事項

特殊詐欺に関して、手口等の理解度、被害防止対策の有無、情報収集の手段、県警察の事業に対する認知度等

5 集計結果

(1) 特殊詐欺の手口等の理解度 (複数回答可)

- ・ 「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「還付金詐欺」及び「架空料金請求詐欺」の認知度が、3年連続で9割と高い。

(2) 特殊詐欺に関する情報源及び情報提供を希望する手段や機会 (複数回答可)

- ・ 情報源としては、過去5年にわたり、「テレビ」と回答した人の割合が90%以上と最も多く、以下、「新聞」「自治体などの広報誌」の順である。
- ・ 情報源として「ソーシャルメディア (ユーチューブ、X (旧ツイッター) など)」と回答した人の割合は昨年より減少したものの、令和元年と比較すると大きく増加している。
- ・ 情報提供を希望する手段や機会についても、「テレビ」と回答した人の割合が3年連続で90%以上と最も多く、以下、「新聞」、「自治体等の広報誌」の順である。

(3) 特殊詐欺の被害に関する意識

- ・ 「自分は被害に遭わないと思う」又は「どちらかと言えば自分は被害に遭わないと思う」と回答した人の割合が54.5%と、3年連続で過半数となっている。

(4) 高齢者の特殊詐欺被害防止対策 (複数回答可)

- ・ 「子や孫世代からの注意喚起」と回答した人の割合が57.9%と最も多く、以下「自宅の電話機に録音装置などの防犯機器の設置や留守番電話の設定」「テレビ、新聞などによる被害防止の呼びかけ」「金融機関の職員やコンビニ店員による声掛け」の順である。

(5) 金融機関職員等による声掛けについて

- ・ 「効果があると思う・継続すべきだと思う」と答えた人の割合が、3年連続で85%を超えている。

6 今後の対策

- ・ 当事者意識を喚起する広報啓発や被害防止教室の実施
- ・ テレビ、新聞、ソーシャルメディア等を活用した広報啓発効果の高い情報発信
- ・ 金融機関職員やコンビニエンスストア店員等による声掛け等による水際対策の推進